



金融論B／II

第1回講義

金融市場とは何か

担当教員：武田浩一

今回のテーマ

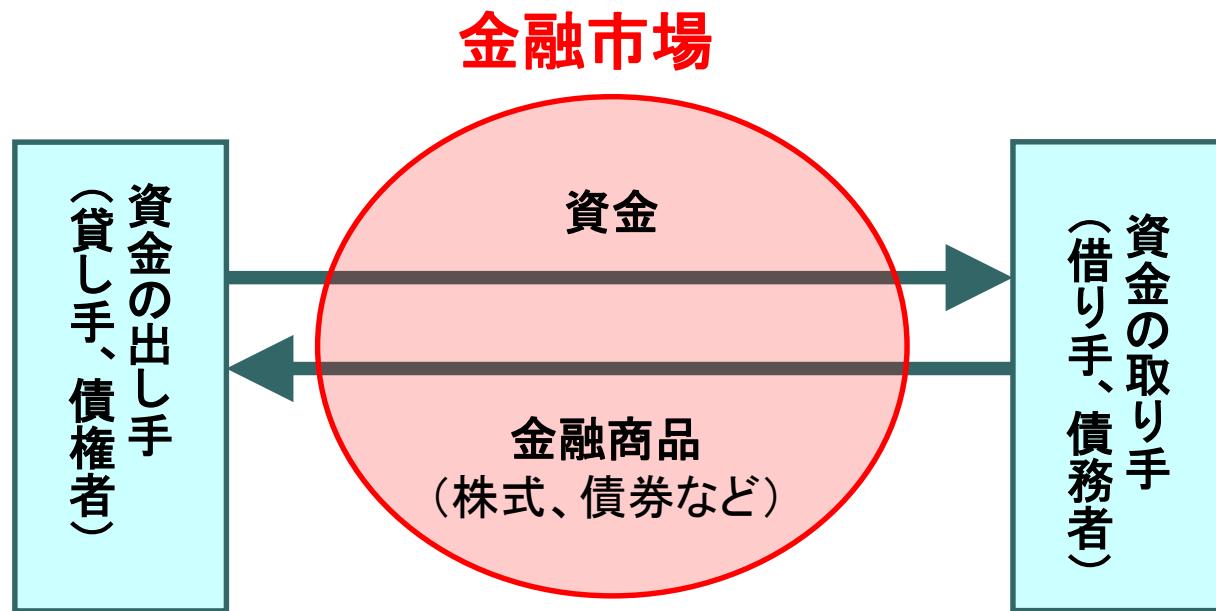


1. 金融市場とは？
2. 3つの金融市場
3. インターバンク市場

金融市場とは？

(テキスト p.111-120)

- **金融市場**とは、金融、つまりお金の融通に関連する資産や負債のやりとりをスムーズに行なうために設けられた市場のことをいう。



金融市場の実体



- 現代の金融市場では、売り手と買い手が直接顔を合わせることなく、通信ネットワークによって接続された取引システム上で執行されるオンラインや電話を通じた売買注文によって、多くの取引が行われる。
 - 通信ネットワーク経由で取引が行われる現代の主要な金融市場は、東京・豊洲の生鮮品等の中央卸売市場のような売り手と買い手が集まって取引するための特定の場所を持たない。

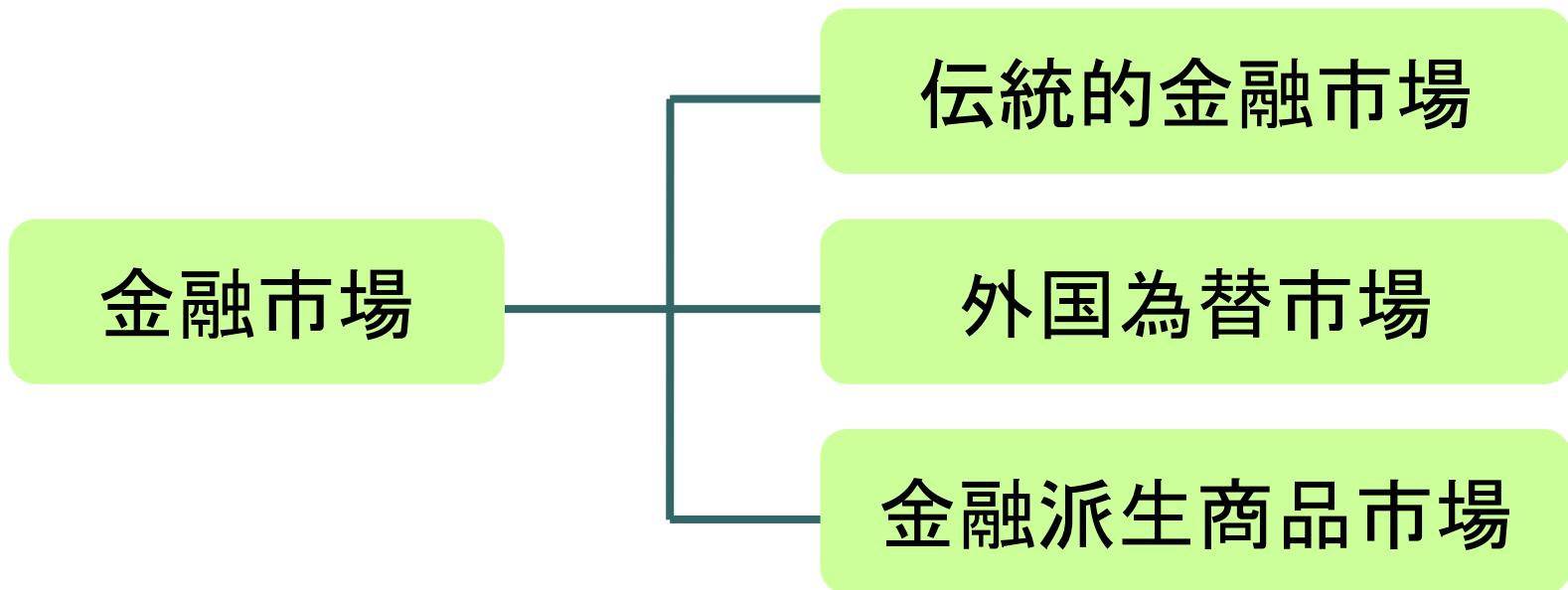
金融商品の実体

```
0001100100011001  
1011001001101010  
1011101110100110  
0001100100011001  
1011001001101010  
1011101110100110  
0001100100011001  
1011001001101010  
1011101110100110  
0001100100011001  
1011001001101010  
1011101110100110  
0001100100011001  
1011001001101010  
1011101110100110
```

- 金融市場で取り引きされる金融商品の多くは、かつてのような紙の証券の形式をとらず、ペーパレス化されて**電子的な記録**となっている。
 - 例えば、東京証券取引所では、株式はかつては紙の株券の形式をとっていたが、取引のオンライン化に伴い、2009年に電子化された。

3つの金融市场

- 金融市场は取引される金融商品の種類によって大きく3つに分類される。



3つの金融市场

1. **伝統的金融市场**…資金の調達・運用に関連した基本的な金融商品が取引される市場。伝統的金融市场で取引される主な金融商品は、コール、株式、債券など。

コール

株式

債券

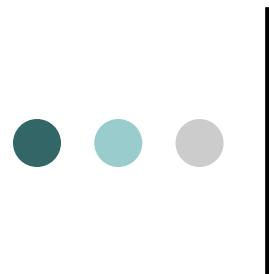
3つの金融市场

2. 外国為替市場…通貨と通貨が交換される市場。取引されるのは、円(日本の通貨)、ドル(米国の通貨)、ユーロ(EUの通貨)など、各国・地域が発行する通貨。

円

ドル

ユーロ



3つの金融市场

3. **金融派生商品市場**…伝統的金融市场および外国為替市場での取引に付随するリスクの管理・調節手段として利用される金融派生商品を取引される市場。取引される金融派生商品は、先物、オプション、スワップなどである。

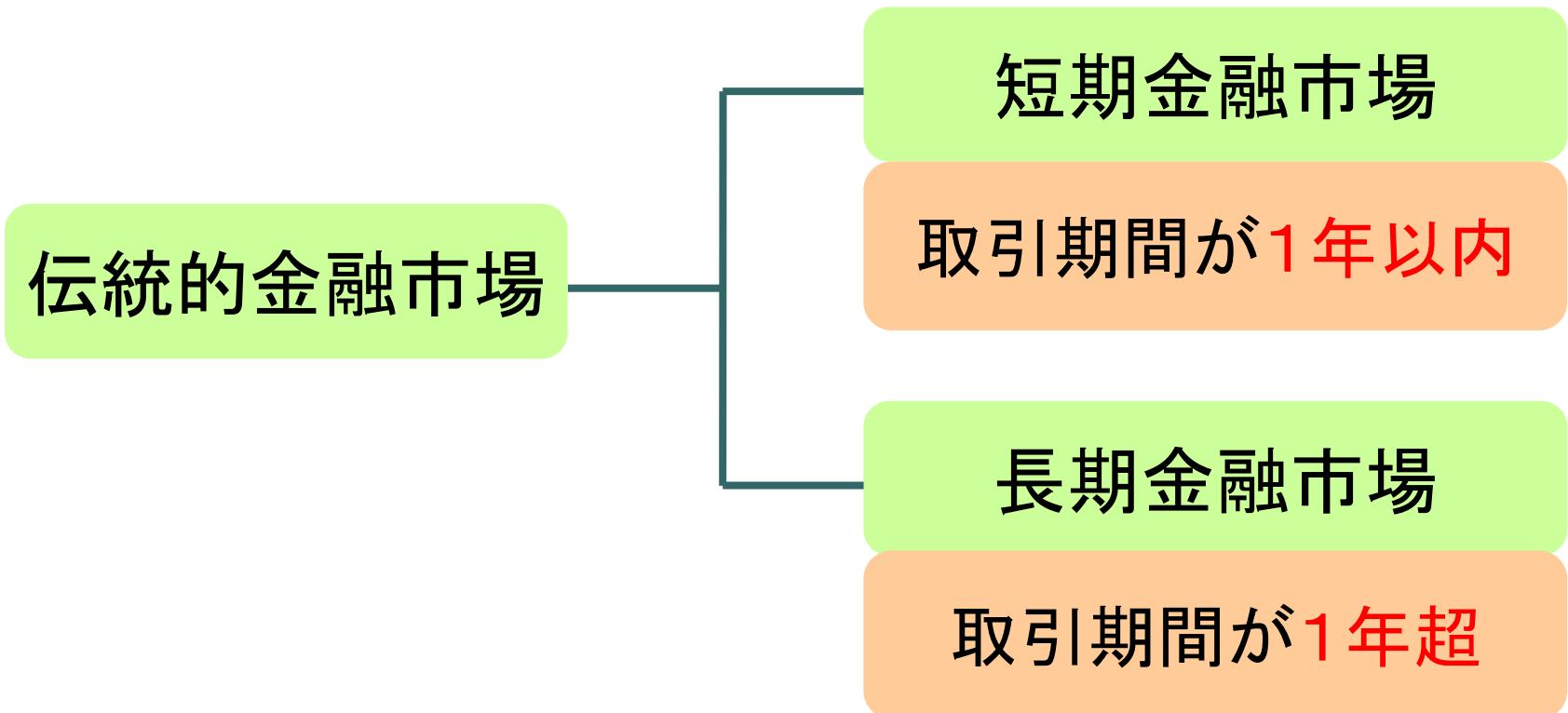
先物

オプション

スワップ

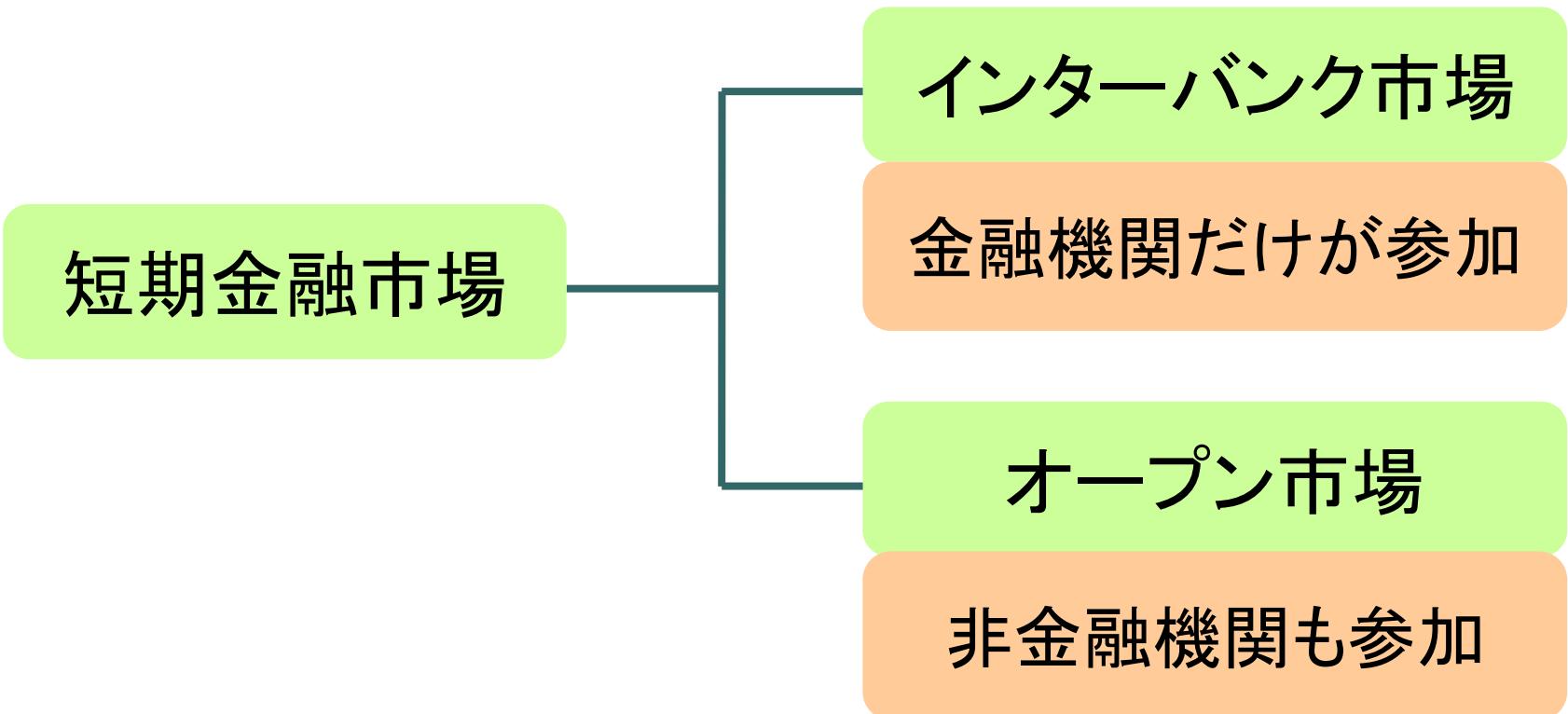
伝統的金融市場

- 伝統的金融市場は、取引期間の長短によって**短期金融市場**と**長期金融市場**の2つの市場に分類される。



短期金融市場

- 短期金融市場は、市場参加者によって金融機関だけが取引に参加する**インター銀行市場**と市場参加者が金融機関に限られない**オープン市場**の2つの市場に分類される。

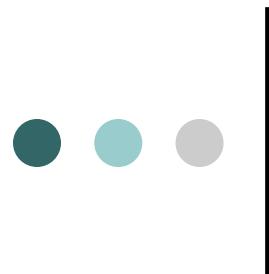


短期金融市場の主な参加者

短期金融市場(マネー・マーケットとも呼ばれる)では、さまざまな経済主体が短期資金の運用と調達を行っている。

主な短期金融市場の参加者

- インターバンク市場とオープン市場
 - 銀行などの金融機関
 - 中央銀行(金融調節を行う)
- オープン市場のみ
 - 一般事業会社、国、地方自治体



・・・ | インターバンク市場

- インターバンク市場は、銀行などの**金融機関が資金の短期的な過不足を相互に調節する市場。**
- インターバンク市場は、**金融機関だけ**が参加する市場であることから、銀行間市場とも呼ばれる。

・・・ | インターバンク市場

- インターバンク市場の主な市場は、コール市場である。

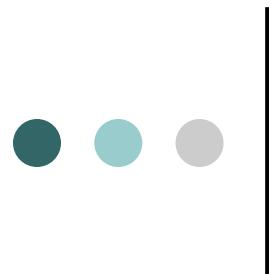
インターバンク市場

コール市場

日々の資金過不足を調整

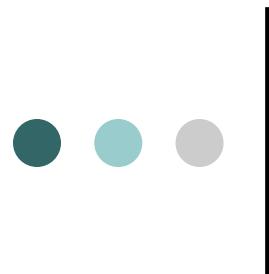
・・・ | インターバンク市場

- 主要な資金の借り手：資金不足状態にあることが多い都市銀行や証券会社など。
- 主要な資金の貸し手：集まる預金に比べて貸出先が少ない地域金融機関（地方銀行、信用金庫など）や、資金余剰状態にあることが多く短期資金を運用したい信託銀行や投資信託など。



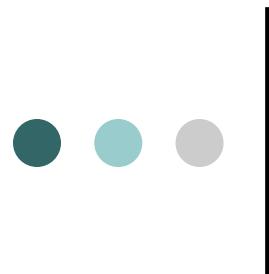
コール市場

- 金融機関の間で**非常に短期**(1日が多い)の資金を貸借する市場。
- 「コール」の名前は、“money at call”(要求すれば直ぐに戻ってくるお金)の“call”に由来。
- 取引期間は1日が中心。取引期間が1日のコールは**オーバーナイト物**と呼ばれる。



コール市場

- 金融機関が日々の資金の過不足を調整する市場として重要な市場。
- コール市場は1902年頃に成立した、日本で最も歴史がある短期金融市场。
- コール市場で金融機関が借入を行っている状態はマネー・ポジション（コール・マネー）と呼ばれ、逆に貸出を行っている状態はローン・ポジション（コール・ローン）と呼ばれる。



コール市場

- コール取引には、借り手が貸し手に対して国債などを担保として預ける**有担保コール**と、担保を預けない**無担保コール**がある。
- 日本では有担保コールの取引が先に始ましたが、1985年に海外で一般的な無担保コールの市場が創設され、近年は無担保コールの取引規模が有担保コールを上回っている。

短資会社

- コール市場における金融機関相互の取引は、**短資会社**と呼ばれる短期金融市場で資金の貸借や仲介を行う専門金融機関によって仲介されている。



コールレート

- コール取引で支払われる金利はコールレートと呼ばれる。
- 無担保オーバーナイト物のコールレートは、日本銀行が金融市場調節を行う上で、操作目標として重視され、日本銀行によって設定された水準に誘導される。
 - 2010年に開始された「包括的な金融緩和政策」のもとでは、コールレートを、0～0.1%程度で推移するよう促す金融調整が行われている。